

令和5年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(令和4年度分)

大江町教育委員会

目 次

I	大江町教育委員会事務事業の点検評価について・・・・・・・・・・	P1
	1. 制度の概要及び目的	
	2. 点検・評価の対象事業	
	3. 点検・評価の方法	
	4. 学識経験者の知見の活用	
II	教育委員会等の活動状況・・・・・・・・・・	P3
	1. 教育委員会の開催	
	2. 教育委員会協議会の開催	
	3. 会議以外の活動	
III	外部評価委員の意見・・・・・・・・・・	P5
IV	施策の体系（大江町教育振興計画）・・・・・・・・・・	P8
V	点検・評価調書一覧・・・・・・・・・・	P9
	【事務事業別点検・評価調書】	

I 大江町教育委員会事務事業の点検評価について

1 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価をおこない、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

また、この点検・評価をおこなうにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

この法律改正を受け、大江町教育委員会では、効果的、効率的で開かれた教育行政の推進に資するため、平成 22 年度より前年度の事務事業について、3 名の外部評価委員（大江町教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しています。

大江町教育委員会では、令和 2 年 9 月に「自己実現と共生をめざす 心豊かな人づくり」を理念とした大江町教育プラン（第 3 次大江町教育振興計画）を策定し、「共生教育の充実と生涯学習の推進」を基本目標に、「未来を切り拓く力を育む学校教育の推進」、「つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進」、「ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進」、「健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進」という 4 つの分野別目標を掲げ、相互に連携しながら各種教育施策の推進に努めております。

今回は、令和 4 年度におこなった主要な事務事業について点検・評価を実施するものです。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価をおこない、その結果に対する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価をおこなうに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、令和 4 年度において教育委員会が所管し実施した主要な事業（25 事業）を対象として選定しました。

3. 点検・評価の方法

各事業について、「必要性」・「効率性」及び「有効性」の観点から分析評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」・「継続」・「縮小」・「見直し」及び「休廃止」に区分し、点検・評価を行い「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会がおこなった点検・評価について、その客観性を確保するため、3 名の学

識経験者を外部評価委員（大江町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容についてご意見をいただくこととしています。

◇大江町教育事務評価委員

富 樫 雅 人、 伊 藤 学 、 松 田 澄 子

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

開催日	区分	議案番号	件名
4月26日	定例	1	大江町指定文化財の指定に係る諮問について (最上家親充行状および橋上遺跡出土「大珠」)
		2	財産の取得について(スクールバスの購入)
5月30日	定例	3	大江町教育事務事業評価委員の委嘱について
		4	令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
		5	大江町指定文化財の指定について
		6	令和4年度大江町教育費予算(令和4年度一般会計補正予算第2号)に対する意見の申出について
6月30日	定例	7	大江町教育事務事業点検・評価報告書(令和3年度分)の評価項目について
		8	令和4年度大江町教育費予算(令和4年度一般会計補正予算第3号)に対する意見の申出について
8月1日	定例	9	令和5年度使用小学校用教科用図書および令和5年度使用中学校用教科用図書の採択について
8月30日	定例	10	令和4年度大江町教育事務事業点検・評価報告書(令和3年度分)について
		11	大江町教育費予算(令和4年度一般会計補正予算(第6号))に対する意見の申出について
10月27日	定例	12	大江町教育費予算(令和4年度一般会計補正予算(第7号))に対する意見の申出について
11月29日	定例	13	大江町教育費予算(令和4年度一般会計補正予算(第8号))に対する意見の申出について
1月27日	定例	14	大江町教育委員会傍聴人規則の改正について
2月24日	定例	15	令和4年度大江町教育費予算(令和4年度一般会計補正予算(第10号))に対する意見の申出について
		16	令和5年度大江町教育費予算(令和5年度一般会計予算)に対する意見の申出について
		17	令和4年度大江町教育委員会表彰について
3月7日	臨時	18	令和5年度 大江町立小中学校教職員人事異動内申について
3月29日	定例	19	大江町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
		20	令和5年度要保護・準要保護の児童生徒の認定について
		21	令和5年度大江町教育委員会職員の人事異動について

2 教育委員会協議会の開催

開催回数 2回(9月29日、12月16日)

内 容 教育長報告及び今後の日程などについて

3 会議以外の活動

(1) 学校訪問（令和4年度）

実施日	実施校	実施日	実施校
6月16日（木）	藤田の丘分校	7月11日（月）	本郷東小学校
6月23日（木）	左沢小学校	11月29日（火）	大江中学校

※ 新型コロナウイルス感染の影響により、給食試食会を中止するなど規模を縮小して実施した。

(2) 大江町総合教育会議の開催

日時 12月16日（金）午後3時～

- 内容 ①今後の町の教育振興に向けて
②大江町教育プラン（第3次教育振興計画）の実現に向けて
③その他

(3) その他の主な活動

- 4月 7日（木） 大江町小中学校入学式
28日（木） 山形県縦断駅伝競走大会（大江町中継所通過）
5月 13日（金） 大江町小中高 PTA 連絡協議会総会
15日（日） ふくらすカレッジ開講式
22日（日） 町民ソフトボール大会（中止）
6月 5日（日） あじさい手づくり工芸まつり
26日（日） 舟唄健康マラソン大会
7月 2日（土） 左沢小学校運動会
7日（木） 西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会
8月 5日（金） 山形県市町村教育委員大会（南陽：水害のため中止）
14日（日） 大江町二十歳祝賀式
9月 4日（日） 大江町縦断駅伝競走大会（中止）
14日（土） 大江中学校躍動祭
10月 9日（日） 大江町民大運動会（中止）
22日（土） 左小祭、キラリっ子祭
28日（金）～30日（日） 大江町文化祭
29日（土） 飛翔祭
11月 13日（日） 西村山地区駅伝競走大会
18日（金） 大江町小中高 PTA 連絡協議会秋の研修協議会
12月 16日（木） 大江町総合教育会議
21日（水） 山響とみんなで創る音楽会
1月 22日（日） 町民つなひき大会
3月 14日（火） 大江中学校卒業式
18日（土） 町内小学校卒業式

Ⅲ 外部評価委員の意見（令和4年度事業分）

1 教育委員会活動等全般について

- (1) 3年目のコロナ禍に加え、ロシア・ウクライナ問題が深く影を落とす中、安倍晋三元首相の銃撃事件も起きた重苦しい令和4年度だったと思います。ますます世の中が混沌とし、先を見通すことが容易でない時代となる中「自己実現と共生をめざす 心豊かな人づくり」を理念に内容・方向性共に熟慮し、さらに4つの分野別目標を掲げているとおり、子どもからお年寄りまで町民すべてが生涯をより豊かに暮らしていくための幅広い教育事務事業を実施していただいたと感じています。
- (2) 単にコロナ禍以前と同様の事業に戻すのではなく、時代の変化に合わせた事業運営は本当に大切だと感じています。児童生徒への教育の歩みは止めてはならないため、様々な変更や対応を乗り越えて、着実な教育活動を進めてきた学校とそれを支える教育委員会のひたむきな努力に感謝します。今日も子どもたちが学校に通う。だから元気をもらう町民もいるのではないのでしょうか。今後も大江町の教育行政の推進をお願いしたいと思います。
- (3) 残念なことは、不登校児童生徒が増加しているということです。全国的には24万人超が不登校になっており、コロナ禍になって急増しています（2021年度の文科省問題行動・不登校調査による）。このことは、行事の中止や活動の制限で、交友関係が築けない等のコロナ禍に直接的な要因があると思っていますが、多少の困難で登校できなくなるということは、子どもを取り巻く教育環境が非常に脆弱になっていることを如実に示しているのではないのでしょうか。児童虐待の件数も年々増加していることを考慮すれば、ここで家庭教育を見つめ直す保護者向けの学習会や研修会にテコ入れする必要があると考えます。

2 学校教育全般について

- (1) 今後の学校のあり方を考えなくてはいけない状況で、現在の学校における大規模な整備対応は難しいところだと思いますが、活動の妨げになるような施設の不具合には早急に対応していただきたいです。安心安全な環境維持のための整備は、引き続きしっかりお願いしたいです。
- (2) 大人でも心と体のバランスを保つのが難しい今の時代、健康管理と学習生活自立に向けた個別支援は大変重要です。児童生徒、教職員、支援員の方々が健康で充実した学校生活を送れるよう十分に対応していただきたいと思います。
- (3) 教育相談件数が前年度から増加しているのが気になります。しかし他の機関との連携を強化して相談体制を充実させたことは大きな前進であり、相談機能が身近に存在していることは、狭い人間関係の中で毎日を過ごす保護者にとっての光明となるのではないのでしょうか。家庭教育が機能し、家庭内での問題解決につながればいいのですが、なかなか改善・進展しない分野なので、まず手堅く地道に続けることが重要だと思います。教育相談は児童生徒や保護者の大切な窓口ですので、今後も児童生徒の心のケアを拡充する方向でお願いしたいと考えます。
- (4) 経済的困難を理由に就学の機会が妨げられた児童生徒がないということは、支援体制が充実している成果だと思われます。経済的困窮に陥った家庭では、迅速な対応ほどありがたいものではないのでしょうか。学校及び健康福祉課との緊密な連携で今後も対応し、継続した支援をお願いします。また、この支援制度があることを保護者は知らないことが多いようです。小学校の就学時オリエンテーションでの説明の他に、折を見て周知させると良いのではないのでしょうか。

- (5) できたてのご飯が食べられる自校調理方式の完全給食は、子どもにとって本当にありがたいことです。今後も継続してもらいたいと思います。また小中学校においてすべての児童生徒の給食無償化が実現し、大変素晴らしいことだと感じています。国でも無償化の取り組みについて、真剣に議論すべき時期に来ているのではないのでしょうか。また食育に関しては、子どもたちの成長著しい時期に、食に関する様々な知識を身に付けることができるよう指導していただきありがたい限りです。
- (6) 県立左沢高等学校については、年々生徒数が減少していく中で、存続に向けてこれまで町独自の支援をしていますし、3町で構成する「左沢高校を支援する会」でも後押ししています。さらには高校の魅力と情報発信ツールとして、町報の「教えてハイスクール」の記事もとてもいい取組だと思って読んでおります。非常に悩ましい課題に対峙してきたことに敬意を表したいと思います。

JRの定期券の半額助成は大胆で魅力ある施策と思いますが、やはり減少に歯止めがかからない状況です。今年度の入学者数が定員の2/3に届かなかつたため、来年度以降1クラスの募集となるようですが、今後は教育課程（内容）の魅力度UPが重要と思われる。大江町の学校のあり方について検討する際に、簡単なことではないとは思いますが、中高一貫校に移行するような大胆な検討も必要ではないかと思いました。

- (7) 町独自の奨学金について、近隣の町では条件によっては返還不要となる教育ローンの制度がスタートしました。大学進学率も年々上がっており、県内外の大学へ進学する町内の子どもたちも増えています。学費も年々高くなり、私立大への進学となると年間の学費だけで100万円を超えるため、卒業の直後から返還するのはいいのですが、はじめの5年間くらいは返還額を抑えた形にしてはどうでしょうか。あるいは最初の5年間は猶予する等の手法も考慮していただきたいと思います。

勤め始めた頃はまだ蓄えも十分でないと思われます。地元就職による返還免除も、返還額の一部免除では、隣町の施策と比べるとやや見劣りするような気がします。町民の幸せを根底に置いた施策の見直しをお願いしたいです。地元愛を育む有難い事業だと思いますので、他市町村とは違う独自の特色を出していただければと考えます。また大江町ふるさと奨学金の年間貸与額を増額する等の対応があってもいいのではないかと思います。

- (8) 小学校5・6年生英語教科化から3年が経過し、小6のGTECの結果が良好であると聞いています。これは本当に喜ばしい限りです。外国語指導助手を活用した国際理解は、大江町が早くから先行した分野で、今後も特色にあげられるよう力を入れたいものです。さらにNRT学力テストに英語を追加することには賛成です。英語も「いい体験」を「数多く」がモノを言うのだと思います。
- (9) ブリティッシュヒルズでの体験活動の状況の中2の息子から聞きましたが、皆とても生き生きとして充実していた様子でした。長い人生において若年期の体験は何よりも得難いものですので、きっと未来を切り開く力として役立つのではないのでしょうか。

3 社会教育・歴史文化活動について

- (1) 人々の対面での交流を積極的に進め、活動の柱としてきたものが、コロナによってほぼ全面的に制限されたことは、手足を縛られたような感覚だったろうと思います。しかし、集団を分散させて実施したり、回数を増やしたりして何とかして開催にこぎつけ、参加者の満足感を引き出したことは称賛に値すると思います。
- (2) 生涯学習推進事業では企画いただいたさまざまなイベントを通して学びのきっかけづくりができていると思います。ふれあい会館を利用した1日映画館のイベントは大変良かったです。施設の魅力も再発見でき利用促進にも繋がることだろうと思いました。好評だった映画上映会は今後も続けてほしいし、できるなら毎年開催してほしいです。

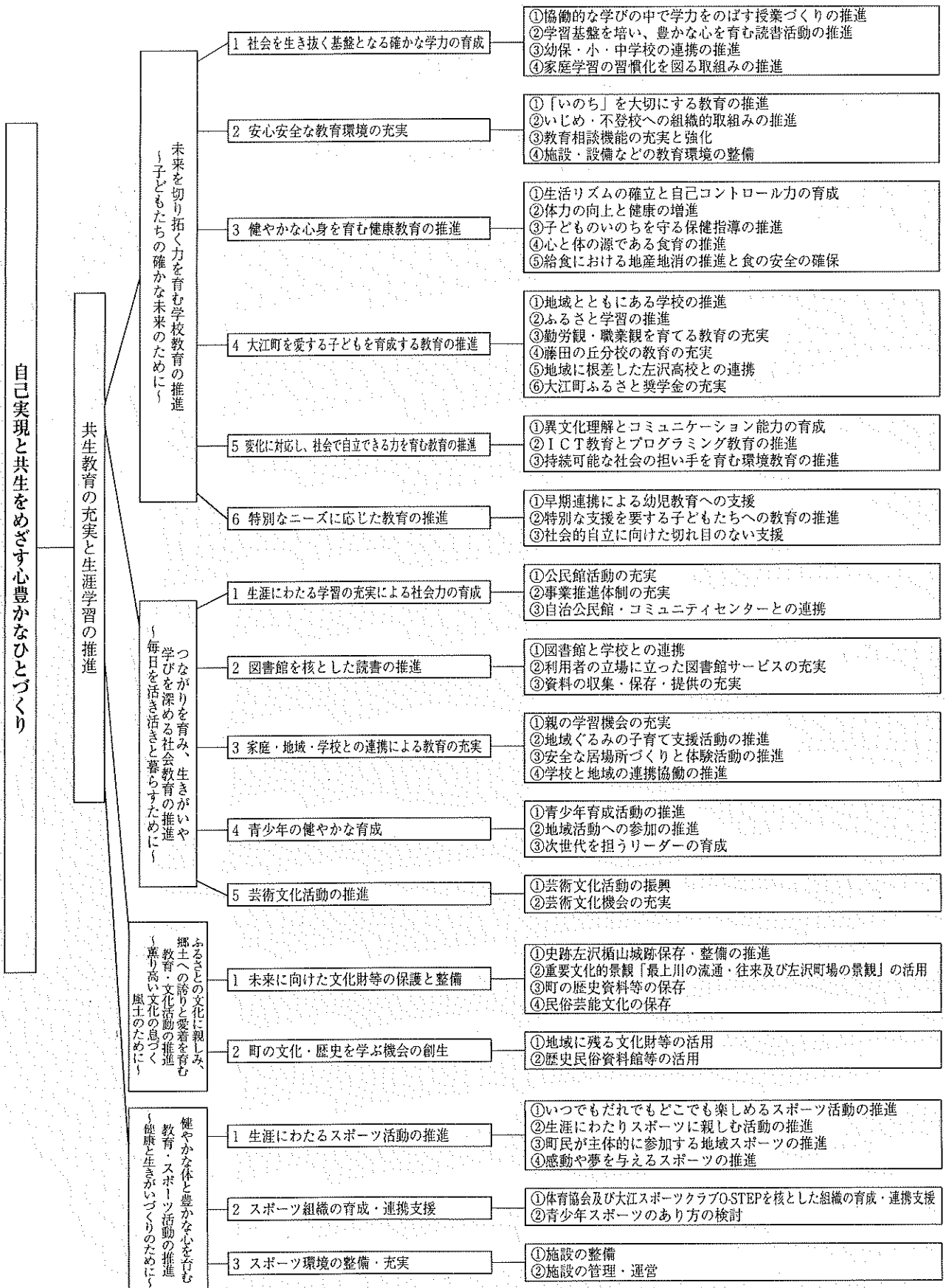
- (3) ぷくらすの2階から図書館を見下ろすと、つい立ち寄りたくなる佇まいをしています。蔵書数を増やすことはもちろんですが、町の図書館と学校図書との連携強化（ネットワーク化）はぜひとも進めていただきたいと思います。町立図書館と学校図書の双方の利用活性化につながる事業として、図書館と学校が連携し、子ども達がわくわくするような企画が実施されることを期待しています。
- (4) 密を避け、子ども達が安心して体験教室に参加できるよう工夫したことは大変よかったと思います。コミュニケーション力を養うために「ボードゲーム教室」を実施したと聞きました。コミュニケーション力を養う試みは非常に大事だと思いますし、子どもたちだけでなく大人も楽しめると思うので、今後は社会教育講座のひとつに加えてみるのもいいのではないかと思います。自分自身も学校生活では圧倒的に失敗体験の方が多く、どうしても消極的になりがちでしたので、楽しみながらコミュニケーション能力を養い、体験・経験を積めるような取り組みに今後も期待します。
- (5) 「お知らせ版」の図書館ナビゲーションにある今月の1冊、本の表紙の画像、図書館担当の方の紹介コメント、毎回楽しみにしていますので、今後はInstagramでも情報発信いただくことで若い方々にもお知らせできるといいのではないかと感じました。
- (6) ボランティア活動の情報を目にする機会が増えたように思います。これからも会員自身が楽しみながら参加でき、町民の認知度があがる情報発信をすべきだと感じています。その意味においては山形空港での本町PR活動はすばらしいと思いました。
- (7) 文化祭やコンサートが久しぶりに開催できたことは本当に良かったと思います。中学生が参加した「山響とみんなで創る音楽会」のように、子どもたちがプロの演奏に触れる機会を増やしていただきたいし、屋外で演奏できる機会があってもいいのではないかと思います。
- (8) 左沢楯山城跡の整備状況を学ぶため、見学会に参加したかったのですが、予定が合わず参加できなかったという声がありました。40名程度の募集でしたが、楯山は町の宝ですので、もっとたくさんの方にその魅力と意義を知ってもらいたいと思っています。年に何回かの複数開催を検討してもらえるとありがたいです。

4 スポーツ振興活動全般について

- (1) コロナ禍でスポーツ事業の中止が相次ぎました。この3年ほどの間にスポーツ事業への参加に対する町民の意識もますます低下してきていると感じます。大型イベントについては、地区の体育推進員さんや区長さんの負担にならず、参加しやすい仕組みづくりを考えていかなければ、今後さまざまな大会ができなくなってしまうのではと危惧しております。各種スポーツ大会も実施され、少しずつ活気も戻っていると感じられますが、町民の方々の参加意欲の変化もあり、時代に合わせた展開、ちょっとしたことから始められるきっかけづくりが必要だと感じます。
- (2) ニュースポーツ体験会の実施は大変良かったのではないかと。幅広い年代の参加があったと聞いています。今後も継続して、いろんなニュースポーツを紹介してほしいと思います。ニュースポーツの備品の充実もお願いしたいです。
- (3) 少子化の時代だからこそ、スポーツ少年団・クラブ等若年層への一層の支援強化をお願いしたいと考えます。
- (4) スキー場、プール施設の利用者が一定数いることは大変良い傾向であり、喜ばしいことだと思います。身近なスキー場やプールが減っている中、町内にこれらの運動施設を備えている市町村は数少ないのではないのでしょうか。貴重な施設なので今後も安心・安全に利用していただけるように整備をしっかりとこなっていただき、維持管理の継続をお願いしたいです。ぜひ町民プールの更衣室も快適に利用できるように修繕をお願いします。

大江町教育プラン（第3次 大江町教育振興計画） 体系図

理念 基本目標 分野別目標 施策 項目



令和4年度分 大江町教育事務事業点検・評価調書一覧

区分	施策体系	事務事業名	担当係	頁
未来を切拓く力を育む学校教育の推進	1-1-①	小中学校運営事業	学校教育係	10
	1-1-①	教育活動推進事業	同	11
	1-2-③	教育相談員配置事業	同	12
	1-2-④	小学校施設整備事業	同	13
	1-2-④	中学校施設整備事業	同	14
	1-2-④	スクールバス運行事業	同	15
	1-2-④	就学支援事業	同	16
	1-3-③	学校保健事業	同	17
	1-3-④・⑤	学校給食事業	同	18
	1-4-⑤	左沢高等学校支援事業	同	19
	1-4-⑥	ふるさと奨学金事業	同	20
	1-5-①	国際理解推進事業	同	21
	1-6-②	学習生活自立支援事業	同	22
つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進	2-1-①、2-5-②	公民館管理運営事業	社会教育係	23
	2-1、2-3、2-4	生涯学習推進事業	同	24
	2-2-①～③	読書推進事業	同	25
	2-3-②～④	放課後子どもプラン推進事業	同	26
	2-3-②、2-4	青少年育成事業	同	27
	2-5-①・②	芸術文化振興事業	同	28
ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進	3-1-③④ 3-2-①②	文化財保護事業	歴史文化係	29
	3-1-①	左沢楯山城跡保存整備事業	同	30
	3-1-②	文化的景観推進事業	同	31
	健全な心と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進	4-1-①・③	スポーツ振興事業	スポーツ振興係
4-2-②		スポーツ団体育成事業	同	33
4-3-①・②		スポーツ環境整備事業	同	34

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小中学校運営事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第1節 社会を生き抜く基盤となる確かな学力の育成 ①協働的な学びの中で学力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10 教育費 2・3 小学校費、中学校費 1・2 学校運営費、教育費振興費

2. 事業の概要

事業目的	『主体的・協働的な探究型学習』が展開されるよう、各学校の取り組みを、物・人・指導方法等多面で支援し、学習環境を整える。
事業内容	・学校運営に要する経常経費 ・教育に要する経費

3. 予算額・決算額

予算現額	57,703	決算額	55,675	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目				
学校の運営に係る経費 41,126千円 ※給食・学校医関係を除く (報酬、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料、原材料、備品購入、負担金)				
教育振興に係る経費 14,549千円 (報償費、旅費、需用費、役務費、使用料、備品購入、負担金)				

4. 事業の実施状況

左沢小学校 児童数223名 職員数32名	本郷東小学校 児童数103名 職員数20名
左沢小藤田の丘分校 児童数3名 職員数2名	
大江中学校 生徒数175名 職員数28名	大江中藤田の丘分校 生徒数2名 職員数5名
小学校計 男子177名 女子152名 合計329名	中学校計 男子104名 女子73名 合計177名

5. 事業の評価

	評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	新型コロナウイルス感染症の影響で臨時的に対応したり、できることを工夫して行事等を行ってきた。学校運営に支障がありながらも安定した形で進められた。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	安定した学校運営を維持していくために、適時・適切に対応がなされている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	新型コロナウイルス感染症による影響でできなかったものもあったが、各学校が予算の範囲内で効果的に執行しており、児童生徒の安定につながっていた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	この事業は、子どもたちが学校において未来を切り拓く力を育てていくための人的・物的環境を主としている。特に、社会を生き抜く基盤となる確かな学力を育成し、将来の大江町を担う子どもたちに必要な資質・能力を育てなければならぬ。そのためにも継続した形で子どもたちの学びの環境を整え、共生教育の理念のもとで学習が推進されるようにしていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育活動推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第1節 社会を生き抜く基盤となる確かな学力の育成 ①協働的な学びの中で学力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	自他が互いに高まり合う共生教育の考えに基づいて、主体的・協働的な探究型学習、学習基盤を培い豊かな心を育む読書活動、幼保小中の連携、地域や家庭と連携した教育活動を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育センターを設置し、教職員の資質向上及び大江町全体の教育力向上にむけて講演会、研修会等を実施する。また、児童生徒の学力診断・知能検査を実施し、その分析を行う。 ・ 共生教育の研究や実践活動を支援する。

3. 予算額・決算額

予算現額	3,829	決算額	3,796	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目				
* 知能検査、NRT検査等 1,063千円 * 芸術鑑賞教室 400千円 * 図書購入 1,633千円 * 共生教育推進等(主に学校教育センター関係) 700千円				

4. 事業の実施状況

「学校教育センターの運営」 ・ 学力向上推進委員会 * 小2～中3 教研式NRTテスト実施 * 小2/4/6中2 知能検査実施 * 小3～中3 Q-Uアンケート2回実施 ・ 所員全体研修、教育課題一般研修、共生教育推進、所員半日研修会(山形大学教授による講演)(中止) ・ 芸術鑑賞教室開催、読書活動推進(図書購入)
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	NRT学力検査やQ-Uアンケートの実施により、学力の客観的なデータを基に、授業改善やよりよい人間関係をつくるための指針を活用して、共生教育に基づいた主体的・協働的な学びの推進および学級経営に努めている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	危機管理の面から考えた生徒指導について、教育課題の一般研修を実施した。安全・安心な学校生活を送っていくための、教職員の心構えや日頃の管理、また日常的な生徒指導を通して子どもたち一人一人を育てていくことの大切さを全教職員が理解していた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	NRT学力検査で、概ね全国平均を上回り、子どもたちの学力が高まっている傾向が見られる。また、現状課題も明らかになり、その解決に向け、教職員がそれぞれの学校の授業研究を見合う機会を活用しながら、授業改善に努める姿勢が見られる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	いじめ防止の観点からも、Q-Uアンケートを2回実施し客観的なデータに基づき、学級経営に大いに役立っていることから、今後も継続して実施していく必要がある。また、小学校5・6年に英語が教科化されて3年が経過し、NRT学力テストに英語を追加するかどうかを検討していくことが必要である。また、若手教員の増加に伴い、不登校やいじめ防止など生徒指導に関わる初期対応等の研修やICT活用に関する研修をさらに充実させていかなければいけない。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	教育相談員配置事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ③教育相談機能の充実と強化	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 教育相談費

2. 事業の概要

事業目的	心に悩みを抱える子どもを支援するため、教育相談体制を整え、子どもや保護者の悩みに対応できる体制を構築する。
事業内容	・ 教育相談員を配置し、各種相談への対応を行う。

3. 予算額・決算額

予算現額	248	決算額	244	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	* 教育相談員配置 244 (報償240 旅費2 消耗品2) 千円			

4. 事業の実施状況

・ 教育相談員の配置 * 受付相談件数 のべ件 70 件

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	児童生徒や保護者の抱える悩みや課題が複雑化、多様化している中、直接学校には伝えられないものもあり、その対応として相談員が担うことができている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	教育相談員が児童生徒や保護者と学校の橋渡し役を担っている。また、教育相談員から教育委員会にも情報が入り、学校への助言にも役立っている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	昨年度から不登校傾向の児童生徒が増え、不登校に関する相談業務が多かった。該当児童生徒の保護者や不登校・ひきこもり親の会と関わりを持ち続けてくださり、学校との情報共有が図られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	不登校傾向・いじめ・虐待・人間関係等にかかわる心の悩みは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり昨年から増加しており、今後も増えてくることが予想されます。この教育相談員配置事業において学校や他の関係機関との連携を強化し、教育相談体制を拡充し、児童生徒の心身の健全な成長を支援していけるようにしていきたい。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	小学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	款 10 教育費 項 2 小学校費 目 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	学校施設の整備を図るとともに、学習に必要な物的環境の整備を推進する
事業内容	○小学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品などを順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	7,237	決算額	7,237	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
※主な支出項目				
○左沢小学校校舎3階雨漏り修繕工事 1,078千円 ○本郷東小学校昇降口前広場段差改善工事 994千円				
○旧七軒東小学校低圧受電化工事 924千円 ○左沢小学校プール循環ポンプモーター更新工事 814千円				
○左沢小学オイルギヤポンプ交換業務 622千円				
○施設用備品（消火器）8千円				

4. 事業の実施状況

○校舎各種工事等：小学校プール循環浄化装置等修繕工事 他 左沢小（校舎3階雨漏り修繕工事、プール循環ポンプモーター更新工事、校舎西側ブロック擁壁補修工事 他） 本郷小（小学校昇降口前広場段差改善工事、食堂東エアコン修繕、除雪機修繕 他）
○施設用備品（消火器）

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	計画的に、状況によっては緊急的に修繕・工事を行っているものの、施設の老朽化が進んでいるため、将来を見据えた大規模な修繕が必要であり、また施設用備品等を順次整備、更新し教育環境の充実を図る必要がある。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	計画的な工事・修繕と施設用備品の整備により、学習に必要な物的環境の整備を図ることができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	計画的な工事等により児童の教育環境の充実と向上、施設整備備品の整備により安心して学ぶ環境づくりに役立てることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は児童の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっていることから、老朽化して不具合が生じる箇所については、今後も計画的に修繕・工事を実施していく。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	中学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	学校施設の整備を図るとともに、学習に必要な物的環境の整備を推進する
事業内容	○中学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品などを順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	1,266	決算額	1,266	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
※主な支出項目				
○空調機修繕 325千円 ○ロータリー屋外照明灯改修業務 248千円 ○消防設備修繕 220千円 ○昇降口タイル補修 219千円 ○体育館ステージ蛍光管交換 110千円 ○生徒会室カーテン更新 102千円				

4. 事業の実施状況

○工事関係：生徒会室カーテン更新 他

5. 事業の評価

	評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	計画的に、状況によっては緊急的に修繕・工事を行っているものの、施設の老朽化が進んでいるため、将来を見据えた大規模な修繕が必要であり、また施設用備品等を順次整備、更新し教育環境の充実を図る必要がある。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	計画的な工事・修繕と施設用備品の整備により、学習に必要な物的環境の整備を図ることができた。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	計画的な工事等により生徒の教育環境の充実と向上、施設整備備品の整備により安心して学ぶ環境づくりに役立てることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっているため、今後も計画的に修繕・工事を実施していく。老朽化がひどいため、大規模な改修が必要である。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	款 10 教育費 項 2・3 小・中学校費 目 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業内容	左沢小2台（用線、藤田線）※藤田線は令和4年7月から開始、業務委託により運行 本郷東小1台（柳川線） 大江中2台（用線、柳川線）※柳川線は業務委託により運行 児童生徒の登下校及び校外授業等での送迎
-------------	---

3. 予算額・決算額

予算現額	12,125	決算額	10,928	（単位：千円 千円未満四捨五入）
(備考) 運転手報酬等5,038千円 燃料費1,695千円 修繕料1,395千円 車検時役務費143千円 消耗品費210千円 公課費63千円 光熱水費27千円 委託料2,345千円 備品購入費12千円				

4. 事業の実施状況

児童生徒の利用者数（延べ人数）	左沢小（用・小見線）46名、（藤田線）27名、 本郷東小（柳川線） 11名 大江中（柳川線）夏季6名・冬期9名、（用線） 夏季：9名・冬季：15名
------------------------	--

5. 事業の評価

	評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	スクールバスを1台追加して、要望のあった藤田地区の一部を乗車対象地区として拡大した。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	登校時において学校の枠を超えたバスの運行体制を実施。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	各校にバスを配置しており、各校で予定が組めるようになり、管理事務に負担軽減が図られた。また、休日の部活動へのバス運行も可能となった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	児童生徒の状況により随時運行体制の見直しが必要。また緊急時の対応なども考慮し、運転手の連携体制の構築を進めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10 教育費 2, 3 小学校費, 中学校費 2 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	経済的理由により就学困難な児童生徒の就学機会確保と、特別な支援を要する児童生徒の教育の振興。
事業内容	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍の児童生徒の保護者に対し、学用品や校外活動に係る費用を支給し援助する。

3. 予算額・決算額

予算現額	1,931	決算額	1,904	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
要保護・準要保護児童生徒就学援助費 小学校797千円 中学校954千円 計1,751千円				
特別支援就学奨励費補助金 小学校124千円 中学校29千円 計153千円				

4. 事業の実施状況

要保護・準要保護児童生徒就学援助費の支給	対象児童生徒数	小学校27名	中学校13名	計40名
特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童生徒数	小学校8名	中学校1名	計9名

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	前年度に引き続き準要保護の対象者数は微増し、経済状況の低迷により就学に支援を要する保護者は多く、より必要性が増している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	経済的困難を理由に就学の機会が妨げられた児童生徒がいないのは本事業の成果である。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	支給額についてはほとんどの項目で7~9割の補助となっており、給食費無償化等の他事業と併せて成果が得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	1人親世帯になったり、コロナの影響による減収など急に経済的困難な世帯になるケースがある。学校や健康福祉課との連携により迅速に認定し、就学困難な児童生徒を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第3節 健やかな心身を育む健康教育の推進 ③子どものいのちを守る保健指導の推進	予算科目	10:教育費 1、2、3:教育総務、小学校、中学校 1、2:事務局費、学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒・就学予定者及び教職員の健康管理・健康保持増進を図り、もって学校生活の充実を図る
事業内容	児童生徒及び教職員に各種検診等を実施し、健康状態を把握のうえ事後指導を行うとともに、感染症の予防に努める。また、学校生活を始めるまえに、予め就学前児童に対し健康診断を実施し心身の状況を把握する。

3. 予算額・決算額

予算現額	4,156	決算額	4,072	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 児童生徒諸検診委託料 437千円 教職員健康診断委託料 675千円 健診器具滅菌業務委託料 100千円 各学校医薬剤師報酬・謝礼 2,702千円 就学時健診診察報償 158千円				

4. 事業の実施状況

1. 児童生徒分 (対象学年、実施者数)	
①内科・歯科・眼科検診 (全年齢対象 506人)	②耳鼻科検診 (小学2・4・6年及び中学2年生対象+α 390人)
③心電図検査 (小学1年生及び中学1年生と要観察者 113人)	
④尿検査 (全年齢2次検査含 514人)	⑤貧血検査 (小学6年生及び中学全年齢 212人)
⑥結核検診精密検査 (0人)	
2. 教職員分 (実施者数)	
①総合健診 (57人)	②胃がん検診 (17人)
③大腸がん検診 (28人)	④ストレスチェック (60人)
3. 就学時健診 (実施者数 49人)	
視力検査・聴力検査・ことば・耳鼻科検査・眼科検査・内科検査・歯科検診 ほか	

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	法定の諸検査・検診を行い、疾患の早期発見に努めることはもちろんのこと、児童生徒及び教職員が充実した学校生活を送れるよう、保健・衛生・安全面での取り組みが必要。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	新型コロナウイルス感染症対策として、フェイスシールド、手袋等を使用し例年より時間をかけた検査を行った。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	マスク着用、手洗いうがい、こまめな手指消毒といった日々の指導により、概ね健康的に児童生徒が学校生活を営んでいる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	児童生徒及び教職員の健康管理と就学予定者の健康状況の把握のため、引き続き事業を実施する必要がある。諸検査の結果に基づく事後指導や、学校保健委員会等での振り返りにより、諸検査の実施結果をより効果的に児童生徒の健康増進に生かすことができるよう取り組んでいく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第3節 健やかな心身を育む健康教育の推進 ④心と体の源である食育の推進 ⑤給食における地産地消の推進と食の安全の確保	予算科目	10:教育費 1:教育総務費 2、3:小学校費、中学校費 3:教育活動推進費 1:学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の心身の健全な発達に資すると共に、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために学校給食を実施する。また学校給食を通して食への関心を高め感謝の気持ちを育み、食育を推進していく。
事業内容	○小学校2校：自校調理方式による完全給食の実施 ○給食一部無償化の実施（7月から全員無償化） ○中学校：民間委託による完全給食の実施 ○地産地消及び食育の推進 ○給食無償化の実施

3. 予算額・決算額

予算現額	50,612	決算額	49,308	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考） 給食関係委託（小・中）1,005千円 給食業務委託（中）13,173千円 備品購入2,190千円 補助金28,103千円 臨時調理師報酬他（小）3,494千円 燃料費 879千円 給食関係消耗品等 464千円				

4. 事業の実施状況

1) 小学校：自校調理方式による完全給食（給食実施回数：左沢小190回、本郷東小194回）
○栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、栄養教諭や給食主任等が食と健康の保持・増進などの指導を行い栄養・食に関する正しい知識の普及に努めた。更には、食への関心の喚起、食事の重要性や食べ物を大切にすることを身に付けさせる、伝統文化への理解を深めることなど、食育を推進。 ○地産地消への取り組み ○ふるさと給食（年10回）○おいしい山形献立（年8回）○絆献立（年2回）○図書給食（年10回） ○献立作成会議（小学校、中学校各8回）、調理師研修会、給食主任会（2回）、給食運営委員会（2回）
2) 中学校：民間委託による完全給食の実施（給食実施回数：181回）
○栄養教諭が中心となって立てた栄養バランスのとれた献立に基づき、安全で安心な給食を提供。 ○小学校と連携した献立の実施 ○令和4年7月から児童生徒の給食無償化

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	引き続き小中連携した献立の作成に取り組んでいる。給食だよりの発行、校内放送による食材の産地等紹介など、食育推進に向けた取り組みを展開した。また、町のSNSで毎日の給食を紹介している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	学校給食法における学校給食の目標に則り、栄養バランス・伝統的な食文化への理解・食育等の面で食材補助を活用するなど適切な給食の実施ができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	地場産を使用したふるさと給食の実施など、食育の充実をはじめ、地元生産者の顔が見える安全で安心な給食が実現できている。今後は地場産品の使用量をもっと増やしていきたい。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	小学校及び中学校の完全給食、またふるさと給食等の実施や地産地消への取り組みは今後も継続し、小・中が連携した食育の実践も引き続き取り組んでいく。また、安全安心な食の提供のため、食材の残留農薬検査や微生物検査についても実施していく。				

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢高等学校支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第4節 大江町を愛する子どもを育成する教育の推進 ⑤地域に根差した左沢高校との連携	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	山形県立左沢高等学校の教育機能の充実及び存続に向けた各種支援事業
事業内容	JR左沢線を利用して通学する生徒に対し定期券購入の半額を助成し、左沢高校の活性化を図る。 就職や進学に資する資格又は免許を取得するための費用の半額を助成する。 左沢高校で生産した農産物を町内小・中学校給食へ提供。 左沢高校を支援する会への助成。

3. 予算額・決算額

予算現額	1,175	決算額	843	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 左沢高校支援補助金(JR)35名 667千円、(資格取得)23名 51千円、左沢高校を支援する会負担金 100千円 農産物購入代 25千円				

4. 事業の実施状況

○定期券の半額助成事業 1学年6名(132,590円)、2学年20名(410,270円)、3学年9名(123,460円) 合計35名(666,320円)	
○資格取得の半額助成事業 1学年0名(0円)、2学年13名(28,700円)、3学年10名(22,600円) 合計23名(51,300円)	

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	定期券・資格取得の半額助成については、高校へ通う家庭の負担軽減が図られる。左沢高校を支援する会負担金は、会員から集められた負担金により学校活動に有効に利用している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	定期券の半額助成は、保護者からの問い合わせもあり効果を実感している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	左沢高校で支援する会の負担金で学校パンフレットを作成し、学校へのPR強化を実施しているが、入学生の増加には至っていない。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	左沢高校の存続に向け、関係機関と連携しながら支援事業を推進していく。左沢高校が魅力ある学校となるよう左沢高校の活動を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	大江町ふるさと奨学金事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第4節 大江町を愛する子供を育成する教育の推進 ⑥大江町ふるさと奨学金の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	経済的理由により高等学校及び大学等での修学が困難な者の教育を受ける機会を拡充する
事業内容	高校生・大学生等の修学を支援するため、無利子で奨学金を貸与する。貸与額は、①高等学校及び高等専門学校に在学する者については年額20万円以内（募集人員：新入学生3名程度）、②大学・短期大学及び専修学校（専門課程）に在学する者については年額50万円以内（募集人員：新入学生5名程度）。奨学金を受けることができるのは、学校等における正規の就学期間とし、申請は一年毎に行うものとする。奨学金の返還は、卒業後6カ月を経過した月の翌月から、貸与を受けた奨学金総額により決められた期間内に行う。

3. 予算額・決算額

予算現額	基金事業で運用	決算額	基金事業で運用	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考）令和4年度末基金総額 50,102千円		債権額34,437千円（貸与額累計63,964千円、返還額累計29,527千円）		
令和4年度末現金残高 15,665千円（令和4年度利子1千円）				

4. 事業の実施状況

貸与者 : 大学(短大含)11名〔1年生×3名,その他学年×8名〕 : 高校1名〔1年生×0名,その他学年×1名〕	小計11名
貸与総額 : 500千円×10名 + 432千円×1名 + 200千円×1名 = 5,632千円	

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	無利子であることから、利用しやすい制度となっている。県と共同でおこなっている返還免除支援事業の利用等で返還の負担が軽減した奨学生もいる。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	制度創設より約10年となり奨学金返還者が増えてきているが、返還が滞る奨学生も少なく基金運用もうまくいっている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	令和4年度までの返還者の中で未納は起こっていない。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	制度が定着してきているといえる。地元就職による返還免除の事業について制度の見直しが進められつつ継続していることから、継続して事業を実施していきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	国際理解推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第5節 変化に対応し、社会で自立できる力を育む教育の推進 ①異文化理解とコミュニケーション能力の育成	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	外国の人々との交流を通し、言語や文化に対する理解を深めることで、社会や経済のグローバル化に対応し、国際社会に貢献できる子どもの育成を目指し、環境整備に努めます。
事業内容	①外国語指導助手(ALT)配置事業 ②英語学習力強化事業

3. 予算額・決算額

予算現額	9,256	決算額	9,468	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 中学生国際理解教育研修費2,134千円 外国語指導助手配置事業6,266千円(ALT分3,685千円、外国語指導員分2,581千円) 英語技能検定・GTEC受験手数料 378千円 英検チャレンジ支援謝礼48千円 中学生オンラインレッスン受講料283千円				

4. 事業の実施状況

①外国語指導助手配置事業：大江中：月、火 左沢小：水、金 本郷東小：火、木 藤田の丘分校に8回、にじいろ保育園に8回 ALTと外国語指導員の2名体制で英語学習を行った。学校での活動は、中学校では英語教諭の助手、小学校では、3・4年生が外国語活動として週1時間、5・6年生が外国語科として実施。 ②英語学習力強化 英語学習力を強化するため大江中3年生の英語技能検定受験料を負担。 大江中1年生のブリティッシュヒルズへの動機づけを目的としたオンラインレッスンの実施。 小学校6年生にスコア型4技能検定GTECの実施。 ③中学生国際理解教育研修 大江中2年生が福島県のブリティッシュヒルズにおいて1泊2日の行程で一日英語で過ごす体験活動を行った。 ④小学校低学年英語活動 小1・小2に分けて会場を中央公民館にして、ハロウィンとクリスマスに合わせて英語を楽しむ活動を実施。

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	ALTと外国語指導員が各学校規模に応じて、中学校英語科、小5・6の外国語科、小3・4の外国語活動の授業に入ることができた。また、にじいろ保育園にも派遣することができた。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	ブリティッシュヒルズの中2の体験は、生徒の英語への関心・意欲を喚起することができた。また、小6実施のGTECの結果を、次年度に中学校に提供し、英語の授業に役立ててもらっている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	ALTと外国語指導員の関わりにより、児童生徒の英語への関心や学習意欲が高まっている。小6のGTECの結果として昨年度同様に話す力・書く力が全国より高い成績であった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	今後も学びの連続性を意識し小中7年間の外国語授業の充実・小学校低学年の動機づけの充実を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学習生活自立支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育 振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第6節 特別なニーズに応じた教育の推進 ②特別な支援を要する子どもたちへの教育の推進	予算科目	款 10:教育費 項 1:教育総務費 目 3:教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	特別な支援を要する児童生徒への対応や悩みを抱える子どもの自立支援に向けた個別支援の充実を図る。
事業内容	障がいや個別に支援が必要な児童生徒に対して個に応じたきめ細やかな指導を行うため、学習生活支援員を配置する。

3. 予算額・決算額

予算現額	11,033	決算額	10,412	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 主な支出項目	* 学習生活支援員報酬 10,412 (報酬9,225 期末手当876 旅費311) 千円			

4. 事業の実施状況

・ 学習生活支援員の配置	* 配置校3校 * 配置人数7名 (左沢小2名、本郷東小2名、大江中3名)
--------------	--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	個別に支援を要する児童生徒、学習に困難さを感じている児童生徒など、個に応じた支援を行うために必要な人的配置を行った。また、県の事業による非常勤講師や学習指導員等の配置を考慮した人数の配置とした。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	担任だけでは見取りきれない児童生徒の状況を支援員と教員が情報共有する中で、学習指導のみならず生徒指導においても、児童生徒に寄り添った手立てを打つことができている。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	コロナ禍で児童生徒の心の安定を図るために、担任だけでなく、支援員が児童生徒の話し相手にもなっており、心の交流が児童生徒の心の安定につながっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	さまざまな課題をかかえる児童生徒が増加しており、担任以外の支援員による声かけやアドバイスをタイムリーに行うことによって、児童生徒が学びに向かうことができる。個別・最適化された学びや主体的に児童生徒を学ばせていくうえで、担任はもとより複数の支援者の児童生徒に対する気付きが必要である。そういう意味でも支援員の力が不可欠である。今後も支援員は誰でもよいとはいかないことから、支援員の人材確保が課題である。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館管理運営事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系 [教育 振興計画]	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第1節 生涯にわたる学習の充実による社会力の育成 ①公民館活動の充実 ②事業推進体制の充実 第5節 芸術文化活動の推進 ②芸術文化機会の充実	予算科目	款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 2 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進の拠点としての役割が果たせるよう、中央公民館と町民ふれあい会館、克雷管理センターの管理運営を行う。
事業内容	効率的かつ適正な公民館の管理運営と、利用者ニーズに対応した施設や学習機材等の整備による利用促進を図る。

3. 予算額・決算額

予算現額	32,262	決算額	30,503	(単位：千円 千円未満四捨五入)
[中央公民館 12,686千円] 夜間及び休日の管理人配置 2,763千円、光熱水費外需用費 6,476千円、清掃外委託料 3,121千円 外 [町民ふれあい会館 17,285千円] 夜間及び休日の管理人配置 3,939千円、光熱水費外需用費 6,159千円、清掃外委託料 4,458千円、工事請負費 2,039千円 外 [克雷管理センター532千円] 光熱水費外需用費 217千円、管理等委託料 248千円 外				

4. 事業の実施状況

夜間及び休日の管理人配置、清掃外業務委託、町民ふれあい会館事務室エアコン更新工事、町民ふれあい会館屋内消火栓設備ポンプ用フート弁交換工事 外
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	住民の多様な生涯学習活動の場として利用されている。また町内団体等の使用料を免除することにより利用率が高まり、生涯学習活動を活発にしている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	効率的かつ適正な公民館の管理運営に努めるほか、施設設備の維持修繕及び更新は、優先度の高いものから実施している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	新型コロナウイルスの状況により利用制限等を行いながらも、生涯学習推進の拠点としての役割が果たされている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町民ふれあい会館と克雷管理センターは経年による施設設備の維持修繕及び更新に多額な経費が必要となっている。町民ふれあい会館については、ふれあい広場のリニューアルを含め今後の施設の修繕についても検討していく。今後も、利用者の安全と利便性を基本に「大江町公共施設個別施設計画」に基づき計画的な維持修繕及び更新、管理運営に努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯学習推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係									
施策体系 [教育振興計画]	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第1節 生涯にわたる学習の充実による社会力の育成 第3節 家庭・地域・学校との連携による教育の充実 ①親の学習機会の充実 第4節 青少年の健やかな育成 ③次世代を担うリーダーの育成	予算科目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">款</td> <td style="width: 10%;">10</td> <td style="width: 80%;">教育費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>4</td> <td>社会教育費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>2</td> <td>公民館費</td> </tr> </table>	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
款	10	教育費										
項	4	社会教育費										
目	2	公民館費										

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進に向け、住民の主体的な活動を支援するため学びのきっかけづくりを行う。
事業内容	人生の各ステージにおける学びの場の設定と各種団体等の活動支援、生涯学習に関する情報提供。家庭教育に関する学習機会の提供。ALTを活用した英語学習機会の提供。イベントを通じた住民活動の発表機会の提供。

3. 予算額・決算額

予算現額	6,886	決算額	6,472	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 社会教育指導員の配置 1,817千円、講師謝礼等報償費 758千円、事業用消耗品外需用費等 181千円、生涯学習カレンダー等印刷製本費 922千円、公民館総合補償制度加入保険料 172千円、映画上映会時著作権使用料 297千円、文化祭共催事業負担金 500千円、山響負担金 89千円、おおえ舟唄太鼓の会活動補助金 80千円、芸術文化団体協議会補助金 60千円、自治公民館整備費補助金 1,120千円 外				

4. 事業の実施状況

英会話講座(10回、登録13人、延66人)、シルバー講座(学習講座4回、館外研修1回、登録44人、延114人)、おらだのまち探訪(4回、登録30人、延65人)、女子力アップ講座(学習講座4回、館外研修1回、登録24人、延93人)、フリープラン講座(13回、302人)、教育文化振興基金活用事業(映画上映会1回、来場者218名)、生涯学習カレンダー・ぶくらすカレッジパンフレット・お知らせ版「生涯学習のひろば」を活用した情報提供、町民ふれあい会館ホワイエ展示 11団体、外

5. 事業の評価

	評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	コロナ禍で外出の機会そのものが減少する中、学習・交流の機会を求める町民のニーズに、感染対策を施しながら柔軟に対応できた。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	各種教室、講座等については、参加者より参加料を負担していただき、効率的に開催している。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	3年ぶりにぶくらすカレッジ開講式を開催し、予定した講座も概ね開催できた。全体的にみると参加者は増加しており、充実度は増したと考えられる。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	H29年度開校した「おおえ町民大学ぶくらすカレッジ」を生涯学習事業の柱ととらえ、その枠組みの中で成人・女性の学びのきっかけづくりとしての「おらだのまち探訪」「女子力アップ」などの講座、高齢者の学びの場としての「シルバー講座」、自らの学びの成果を地域へ還元する「でばん講座」などを継続実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第2節 図書館を核とした読書の推進	予算科目	10 教育費
教育振興計画			4 社会教育費
			3 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	子どもたちは読書によって豊かな心を育み、より深く生きる力を身につけることができる。また学生から高齢者までの幅広い層において読書をとoshした心豊かな生活に資するため、施設・蔵書・図書活動の充実を図る。
事業内容	図書購入、図書貸出返却等整理作業、企画展示（毎月）、レファレンス業務、おはなしボランティア活動（全13回）、図書館まつりの実施

3. 予算額・決算額

予算現額	10,827	決算額	10,347	（単位：千円 千円未満四捨五入）
-------------	--------	------------	--------	------------------

（備考）

図書館職員賃金 5,580千円、図書購入 1,752千円、雑誌購入等消耗品費 793千円、蔵書管理システム借上料 1,703千円、ボランティアサークル活動補助金 60千円 外

4. 事業の実施状況

R4図書購入944冊・寄贈本登録冊数 610冊 R5.3月末現在図書蔵書数 29,587冊 R4図書貸出冊数14,509冊（一般書8,434冊 児童書6,075冊 雑誌397冊 視聴覚資料（DVD等）21枚） R4図書館利用者カード登録者数 2,154人 R5.3末図書の整理と貸出、レファレンス業務（図書館会計年度任用職員3名） おはなし会の実施（13回、いとぐるま、毎月第4土曜日）

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民の図書館に対するニーズに対応できるよう図書館協議会を設置し意見を反映させている。地域に根差した図書館として社会情勢の変化に対応し歴史や文化に関する資料も充実している。また、新型コロナウイルスの状況に合わせて利用制限等柔軟に対応できた。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	一般書・児童書ともに計画的に購入を行うとともに、ボランティアによるおはなし会の実施や図書の整理等を行った。また、蔵書管理システムの導入により検索機能を充実し、また図書館のホームページ開設を行っている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	蔵書管理システムの導入、蔵書の充実、図書の適正な整理などを実施し、利用者の利便性の向上を図っている。また、コロナ禍ではあったが図書館を支援する団体「おおい図書館倶楽部」の方々に協力いただきながら図書館まつりを実施するなど住民の関わりを得ることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	利用者や図書館協議会委員等から意見をいただきながら、町民の学習要求に応えられる開かれた運営を目指し、多様化する町民のニーズに対応できる蔵書及び雑誌等の充実、レファレンスサービス、季節に合わせた企画展示等各年齢層に応じたさまざまなサービスを提供している。また、図書館に関わるボランティア団体等にもご協力をいただきながら、図書館をより身近に感じて足を運んでもらえるような事業を展開していく。 子どもの読書活動推進に向け、学校図書との連携を強化し、読書を通じた子どもたちの創造力の育成に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子どもプラン推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第3節 家庭・地域・学校との連携による教育の充実 ②地域ぐるみの子育て支援活動の推進 ③安全な居場所づくりと体験活動の推進 ④学校と地域の連携協働の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	小学生の児童を対象に多彩な「体験教室」を行い、体験を通して子どもたちの豊かな情操、社会力を育む環境づくりを推進する。
事業内容	放課後や週末、夏季等学校長期休業中に、体験型の多彩な教室を開催する放課後子ども教室を実施し、町の将来を担う子ども達の豊かな情操、社会力を育む。

3. 予算額・決算額

予算現額	4,544	決算額	4,450	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 社会教育指導員の配置 1,815千円、運営委員・協働活動支援員・協働活動サポーター報償 832千円、消耗品等需用費 526千円 外 ※補助対象経費 1,368千円に対して、国1/3、県1/3、計 911千円の補助を受けて実施。 運営委員 9人、協働活動支援員 26人、協働活動サポーター 43人 体験型教室参加児童実人員237人[手芸教室 (5回×2、延べ58人)、料理教室 (3回×2、延べ64人)、陶芸教室 (2回×2、延べ22人)、自然体験塾 (2回、延べ18人)、野外活動体験 (1回、16人)、書道教室 (38回、登録者92人、延べ2,480人)、出前運動教室 (2回、49人)、フラワーアレンジメント (2回、19人)、ボードゲームクラブ (4回、27人)]				

4. 事業の実施状況

<p>コロナ禍での開催となったため1回での参加人数を縮小し、2グループに分けて実施するなどより多くの子どもたちが参加できるようにした。また、書道教室においても密集しないよう部屋を分け、集中して短時間で取り組めるようにし、出前教室については町内の放課後児童クラブの子どもを対象におこなった。</p> <p>また、コミュニケーション力を養うため新たにボードゲーム教室を実施した。</p>

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	放課後の子ども達の学習の場として定着している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	町民の方々から、持っている能力を活かした有償ボランティアの協働活動支援員、協働活動サポーターとして協力をいただき開催できている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多彩な教室を開催し、子ども達の学びの選択肢を広げると共に地域の大人と関わり合う中で、子ども達の社会性・好奇心の向上がみられた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	放課後子ども教室の実施にあたっては、協働活動支援員、協働活動サポーターの協力が不可欠であるため、その養成と確保に努め、教室の内容も検討し新しい内容も取り入れながら今後も事業の充実を図りながら継続していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	青少年育成事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第3節 家庭・地域・学校との連携による教育の充実 ②地域ぐるみの子育て支援活動の推進 第4節 青少年の健やかな育成	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	青少年の健全育成を促し、地域活動への参加を推進する。
事業内容	中高生を対象としたボランティア活動への支援、子ども会育成会連合会への支援、青少年健全育成事業への支援、成人式の実施 外

3. 予算額・決算額

予算現額	1,201	決算額	1,084	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
社会教育委員報酬 (9名) 234千円、青少年育成推進員報償 (6名) 84千円、成人式報償 380千円、社会教育連絡協議会負担金 19千円、青少年育成町民会議運営補助金 60千円 外 ※その他、青少年育成町民会議 (青少年健全育成事業費・子ども会育成事業費・ボランティア育成事業費) より支出				

4. 事業の実施状況

<p>中高生のボランティアサークル「夢憧布 (ぼけっと)」 (大江中生22名参加) …町内清掃活動。プクちゃんイルミネーション点灯に向けた製作活動、山形空港に本町のPR活動。 子ども会育成会連合会事業…GOGOキャンプ、クリスマスリース作り 青少年健全育成事業への支援…青少年育成推進員の独自事業として、イルミネーション企画の補助、中学校卒業式時に大江中卒業生に贈るメッセージ動画を製作し贈る。</p>
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	ボランティアサークル「夢憧布 (ぼけっと)」の活動は、青少年の健全育成事業として定着している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	事業費は、青少年育成町民会議の予算から支出し、青少年育成推進員や子ども会育成会役員の協力をいただきながら実施した。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	青少年育成推進員の独自事業のイルミネーション及びメッセージ動画はコロナ禍の中、明るい話題となり多くの方に見ていただいた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	ボランティアサークル「夢憧布 (ぼけっと)」については、会員が楽しみながら事業を実施できるよう、また主体的な活動になるよう支援していく。 子ども育成会連合会事業並びに青少年健全育成事業については、青少年育成推進員の協力が不可欠であるため、その養成と確保に努め推進員の独自企画を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系 [教育振興計画]	第2編 施策の方針 第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第5節 芸術文化活動の推進	予算科目	款 10 教育費 項 04 社会教育費 目 02 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	文化事業の開催や芸術文化団体への支援により、町の芸術文化の振興を図る。
事業内容	教育文化振興基金活用事業、文化祭、芸術文化団体への支援

3. 予算額・決算額

予算現額	729	決算額	729	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
文化祭共催事業負担金 500千円、山形交響楽協会負担金89千円、 おおえ舟唄太鼓の会補助金 80千円 芸術文化団体協議会補助金60千円、演奏音楽会出演委託料 0千円				

4. 事業の実施状況

3年ぶりに文化祭を、4年ぶりに音の文化祭（ひなまつりコンサート）開催することができた。また、令和4年度は、「山響とみんなで創る音楽会in大江」を開催した。 芸術文化団体への支援として負担金補助金の交付（山響、舟唄太鼓の会、芸文協）を行った。

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	文化祭・音の文化祭（ひなまつりコンサート）の開催により多くの町民が参観し、芸術文化に触れる機会を設けることができた。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	文化祭を通し、町民が芸術文化に触れる機会を得られた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多くの参観者に芸術文化を公開し、また、情報を発信することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	令和5年度はピアノ特別コンサートを予定しており、町民に本格的な芸術文化に触れる機会を創出していく。 また、芸術文化団体協議会は会員の減少等の課題はあるが、団体の支援・育成により今後とも芸術文化の振興を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化財保護事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系	第3章ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進～薫り高い文化の息づく風土のため～ 第1節未来に向けた文化財等の保護と整備 ③町の歴史資料等の保存 / ④民俗芸能文化の保存 第2節町の文化・歴史を学ぶ機会の創生 ①地域に残る文化財等の活用 / ②歴史民俗資料館等の活用	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の保護・活用及び郷土芸能継承団体への支援により町民の文化振興を図る。
事業内容	文化財の管理・活用 郷土芸能継承団体育成のための補助金交付、指定文化財管理のための補助金交付 町史編さん事業及び歴史的資料の収集及び保管、歴史民俗資料館の管理と活用事業の実施

3. 予算額・決算額

予算現額	5,139	決算額	4,677	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 文化財保護委員報酬 160千円、指定文化財管理補助金 70千円、郷土芸能伝承補助金120千円、謝礼ほか50千円 石碑等修繕料151千円、町史編さん事業2,335千円、歴史民俗資料館管理・活用に係る経費1,811千円 (清掃作業報償595千円、謝礼355千円、燃料費10千円、光熱水費323千円、警備委託料211千円ほか)				

4. 事業の実施状況

文化財保護委員会の開催 (2回、委員5名)、指定文化財補助金交付 (県3件、町4件)、郷土芸能継承団体補助金交付 (5団体)、町史編さん業務 (町史編さん専門員1名) 歴史民俗資料館活用事業 (入館利用者数・707人) 文化祭協賛行事 伝統食のつどい (10月29日開催、43名、参加費1,000円) 小正月行事 雪中田植の実演・伝統食 (1月16日開催、46名、参加費1,000円) ひなまつり ひな人形の展示・甘酒・菓子袋の提供 (3月26日・27日 27名受付、入館料徴収)
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	郷土芸能伝承のための事業を実施する団体に対し補助し育成に取り組んだ。 町史編さん資料集第24号を発行した。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存団体や指定文化財管理者への補助金を交付することで、団体または管理者が保存、保護を行うことにより適正な伝承、管理が行われている。2団体が活動停止中。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存経費の一部を補助することにより各種団体による保存・伝承をしていただいている。町の指定文化財を2件新規認定した。指定文化財は管理者への補助金交付により適正な管理が行われている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化財や伝統芸能は失くしてしまえば元に戻すことは容易なことではないため、今後とも新たな町指定物件の追加を含めた文化財の保護・活用を推進するとともに、町の歴史を知るうえで必要不可欠な資料を収集・保管し、町の歴史・文化を次世代に伝えていくこととする。 事業の実施については、新型コロナウイルス感染対策を万全に行い、人数制限など工夫を凝らし慎重に行った。コロナ流行前と同様に資料館の利活用方法について検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢楯山城跡保存整備事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系	第3章ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進～薫り高い文化の息づく風土のため～ 第1節未来に向けた文化財等の保護と整備 ①史跡左沢楯山城跡保存・整備の推進	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	史跡「左沢楯山城跡」の保存・整備及び利活用により町づくりに資する。
事業内容	・治水対策等にかかる発掘調査、第1期整備に係る工事及び測量等の実施。 ・令和5年度に実施予定のサインデザイン業務の実施 ・見晴らしを確保するため樹木伐採の実施。

3. 予算額・決算額

予算現額	31,507	決算額	19,640	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 整備検討委員等報償337千円、旅費140千円、公園整備推進協議会樹木管理報償45千円、トイレ管理委託129千円 第1期整備事業工事費再計算638千円、サインデザイン業務2,715千円、遺構数値化業務3,445千円 樹木伐採業務委託3,740千円、発掘等手数料912千円、史跡左沢楯山城跡管理システム借上料220千円 重機借上料562千円、第1期整備工事（前払い）5,630千円、用地費595千円、各協議会会費33千円 消耗品・公用車燃料・電気料・食糧費・郵券料・原材料等499千円				

4. 事業の実施状況

保存整備検討委員会の開催（3回）、現地指導（2回）、見学会（1回）、史跡保存管理（日常維持管理）、試掘調査（元屋敷ほか）、発掘調査測量業務委託（サイン設置箇所・元屋敷）、第1期整備工事（サイン設置）、工事監理業務、第1期整備事業再計算及びサインデザイン業務、遺構数値化業務、樹木伐採業務委託 整備設置と工事監理は令和5年度に繰越しをしている。

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民の誇りである国指定史跡「左沢楯山城跡」の今後の管理や整備を推進するため、第1期整備事業を推進した。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	第1期整備事業として整備工事と樹木伐採業務を実施した。整備工事の一部が完了、供用開始したことにより、町民から喜びの声が寄せられている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	文化財として保護を図るため、保存管理計画に基づき適正な管理を行った。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	治水対策事業に伴い、試掘等の発掘に伴う業務が多くなってきていることから、第2期整備工事にむけた発掘調査は延期をしている。第1期整備事業の早期完了に向けて保存整備検討委員会から、指導助言を受けながら、事業を推進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化的景観推進事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係									
施策体系 [教育振興計画]	第3章ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進～薫り高い文化の息づく風土のため～ 第1節未来に向けた文化財等の保護と整備 ②重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」の活用	予算科目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">款</td> <td style="width: 10%;">10</td> <td>教育費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>04</td> <td>社会教育費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>05</td> <td>文化財保護費</td> </tr> </table>	款	10	教育費	項	04	社会教育費	目	05	文化財保護費
款	10	教育費										
項	04	社会教育費										
目	05	文化財保護費										

2. 事業の概要

事業目的	国の選定を受けた重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」の保護と活用を図る。
事業内容	文化的景観を活用したまちづくりに関する事業を検討する「文化的景観保存整備検討委員会」の開催。「左沢の流通・往来及び左沢町場の景観」の保存活用を目的として文化的関連のサインの整備と街並み調査・間接補助の実施。最上川・月布川の治水対策に関する現状変更等にかかる事業の調整

3. 予算額・決算額

予算現額	7,207	決算額	6,766	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 保存整備検討委員会委員等報償1,121千円、旅費803千円、消耗品89千円、食糧費、8千円、郵券料20千円、登記事務委託料10千円、重要文化的景観サイン設置工事1,998千円、最上川の調査研究委託料440千円、文化的景観町並み調査770千円、文化的景観補助（菊地家・大瀧山不動尊・上田家）1,492千円、全国文化的景観地区連絡協議会15千円				

4. 事業の実施状況

文化的景観保存整備検討委員会の開催（3回）意見交換会等（9回）現状変更等に係る打合せ（22回）ワークショップの開催（1回）、サイン設置工事（6基）、最上川の調査研究委託（法政大）、文化的景観町並み調査（芸工大）

5. 事業の評価

	評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	日々の生活に根ざした身近な景観の文化的な価値を正しく評価し、地域で護り、次世代へと継承していくことができる。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	整備計画書に基づき、国・県の補助を受けてサイン実施設計を実施した。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	「最上川の流通・往来及び左沢の町場の景観」が、県内初となる国の重要文化的景観に選定され、事業を推進することにより、町内外に広く文化的景観の町であることをアピールできた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化的景観は、日々の生活に根ざした身近な景観であるため、日頃その価値にはなかなか気づきにくいものである。国の重要文化的景観選定を受け、今後、これをどのようにまちづくりへと活かしていくか、町民の誇りと意識を高め、次世代へと継承していくことができるかを住民へ周知する必要がある。事業の具体的な進め方としては整備計画1に基づく重要な構成要素（建築物）の保存整備と合わせ、整備計画2に基づきしてサイン等（案内看板等）の整備を進め、ワークショップなどのソフト事業も推進していきたい。 令和2年度の豪雨災害を受けて、百目木地区と鹿子沢地区に係る治水対策について、重要文化的景観の理解を深め、各関係者と連携しながら進めていく必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スポーツ振興事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係
施策体系	第4章 健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進 第1節 生涯にわたるスポーツ活動の推進 ①いつでもだれでもどこでも楽しめるスポーツ活動の推進 ②生涯にわたりスポーツに親しむ活動の推進 第2節 スポーツ組織の育成・連携支援 ①スポーツ協会及びO-STEPを核とした組織の育成・連携支援	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費 1 体育振興全般に要する経費

2. 事業の概要

事業目的	多様なニーズに対応できる体系を構築し、多くの住民が気軽に参加できるスポーツ活動を推進する。
事業内容	ニュースポーツ及びレクリエーション活動の推進、駅伝及び剣道競技の強化支援 スポーツ協会の活性化、スポーツ大会の充実のための支援と加盟団体等の活動支援

3. 予算額・決算額

予算現額	5,815	決算額	5,737	(単位：千円 千円未満四捨五入)
スポーツ推進委員報償費165 町スポーツ協会補助金3831 その他1405		社会体育推進員138 左沢高校剣道部育成補助金200		

4. 事業の実施状況

スポーツ推進委員11名委嘱、社会体育推進員55名委嘱、 町スポーツ協会（ニュースポーツ体験会の実施、マラソン・綱引き大会実施、ソフトボール・駅伝・町民運動会は中止、加盟団体大会は6団体が実施、3団体は中止）、左沢高校剣道部への支援
--

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	令和4年度も令和3年度に引き続きニュースポーツ体験会（ディスゲッター、スカットボール、ポッチャ、プラズマカー等）を実施するなど運動環境の提供に努めた。今後も気軽にスポーツにふれられる機会を提供していく。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	ソフトボール大会については、当日の雨天中止となり大変残念であった。マラソン大会は3年ぶりに開催できたが、コロナ禍が影響し、参加者はコロナ禍前に比べ少なかったが、開催できたことに意義があるし、今後繋がるスポーツ協会のイベントの開催となった。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	コロナ対策の上、イベントの実施ができたことは今後繋がる大きな成果と捉えている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	令和4年度には半分のイベントを開催できていることを踏まえ、コロナ禍の影響もあり参加人数が振るわないという一面はあるが、コロナ5類移行に伴い世の中的にも様々な事業が展開されていくと考えられることから、社会体育推進員の協力を仰ぎながら、イベント参加者の拡大、スポーツレクリエーション活動及び健康づくりと地域コミュニケーション活動の推進につなげていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スポーツ団体育成事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係
施策体系	第4章 健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進 第1節 生涯にわたるスポーツ活動の推進 ③町民が主体的に参加する地域スポーツの推進 ④感動や夢を与えるスポーツの推進 第2節 スポーツ組織の育成・連携支援 ①スポーツ協会及び0-STEPを核とした組織の育成・連携支援 ②青少年スポーツのあり方の検討	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費 2 生涯スポーツ振興事業に要する経費 3 スポーツ振興基金事業に要する経費

2. 事業の概要

事業目的	優れた成績を取めた選手及び団体への支援、総合型地域スポーツクラブの活動支援をおこなう
事業内容	スポーツクラブ活動の支援 スポーツ振興基金を運用した競技団体の活性化事業 全国大会出場選手への激励金交付

3. 予算額・決算額

予算現額	2,651	決算額	2,388	(単位：千円 千円未満四捨五入)
スキー教室講師謝礼105 0-STEP運営補助金2000		全国大会出場選手激励金70 競技団体等活性化補助金（青少年スポーツ団体振興事業補助金）89		

4. 事業の実施状況

総合型地域スポーツクラブ0-STEP事業 フィットネス、ヨガ、太極拳教室等通年教室が7教室、テニス、ルゲイックウォーキングの季節教室が2教室、計9教室を実施し、会員数は146名、延べ3792名 全国大会出場者（4名7件支援）へ激励金交付、

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	総合型地域スポーツクラブ0-STEPの活動がスタートし11年目、町民の多様なニーズに応えるべく運営してきた。R4もコロナウイルス感染症対策をとったうえで4月から各種教室を開催した。また、大江スキークラブと協力しスキー教室を開催した。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	R4年度もコロナウイルスは収まらなかったが、各教室とも感染症対策を引き続き徹底した上で実施し、例年並みの参加者があった。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	0-STEP事業では会員数及び教室への参加者も定着し、リピーターを増やし、各世代層の会員の確保に尽力してきた。R4年度はこれまでの教室に加え、新しい教室を開催した結果、会員数は微増した。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	コロナ5類移行に伴い以前のようにスポーツイベント等が開催され、スポーツへの関心が高まっていくことが想定される。様々なニーズに応えられるよう総合型地域スポーツクラブの活動へ引き続き支援を行い、町民が参加したいと思える各スポーツ教室を実施していく。令和5年度はこれまでの教室に加えて、「午後のヨガタイム」の開催日数を増やし実施する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スポーツ環境整備事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係
施策体系	第4章 健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進 第3節 スポーツ環境の整備・充実 ①施設の設備 ②施設の管理・運営	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 2 体育施設費 1 総合体育施設等管理運営に要する経費 2 多目的交流広場等管理に要する経費

2. 事業の概要

事業目的	利用者が安全に利用できるよう老朽化した施設を整備していく
事業内容	計画的な施設の整備・修繕、利用者のニーズに即した施設の備品の更新

3. 予算額・決算額

予算現額	41,852	決算額	40,407	(単位: 千円 千円未満四捨五入)
光熱水費8579 体育施設整備等工事費5279	各保守点検・管理等委託料10967			

4. 事業の実施状況

小鳥山スキー場休憩所屋根塗替等工事、小鳥山スキー場ロープトウ交換等工事、体育センターR型受信機更新工事、体育センター2階更衣室給湯器更新工事等。町民プール管理監視委託、蛍水運動公園・森ノ宮公園管理委託等カヌー購入、小鳥山スキー場圧雪車購入等
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	小鳥山スキー場の屋根塗替え、ロープトウの交換等施設の老朽化対策を行った。また、古くなり修繕に費用がかさんでいた圧雪車の更新や老朽化したカヌーの更新を行った。その他の施設の維持管理について、快適に利用できるよう業者への委託を行った。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	老朽化した施設の修繕、圧雪車の更新により、快適に施設が利用できるようになった。また、古くなり修理費のかさんでいた圧雪車の更新により、これまでよりも維持費の抑制が見込まれる。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	昨年度よりスキー場、プールの利用者が増えており、その他体育施設も含め、概ね期待される効果は得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設の維持管理も含め、老朽化等に対する対応を適切に行いながら安全に社会体育施設を利用できるよう努める。 また、施設利用に係る利便性の向上の観点から施設の整備・修繕を今後も進めていきたい。

教育委員会事務事業点検・評価報告書（令和4年度分）

令和5年9月

大江町教育委員会 教育文化課

〒990-1163

山形県西村山郡大江町大字本郷丁 373 番地の1

TEL : 0237-62-2270、3666（代表） FAX : 0237-62-3667